

鮭川町自慢の鮭とキノコをアピールする、
幅 7.5mの巨大ジオラマを東北芸術工科大学の学生が制作
10/23(日)にお披露目式

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）は、鮭川村の依頼を受け、鮭川村内の産直施設・情報発信施設である「鮭の子館」に新たに設置するジオラマを制作しました。

鮭川村では主に7種類のきのこが生産されており、生産量は県内の半分以上、ナメコにいたっては全国の約1割を占める「きのこ王国」です。交流人口の拡大や特産品であるきのこの消費拡大を図るため、「鮭の子館」に鮭ときのこを紹介するジオラマを設置するプロジェクトが企画されました。

本プロジェクトには美術科洋画コースの学生10名、美術科彫刻コースの学生10名が参加しました。制作にあたり、昨年度にはきのこの生産地や鮭のウライ漁などを現地で取材。2022年5月より制作が開始され、この度、全長7.5mのジオラマが納められました。

2022年10月23日（日）、このジオラマの完成お披露目となるオープニングセレモニーを開催し、当日は制作した学生によるジオラマの紹介も行います。つきましては、ぜひこの取り組みを多くの皆さまにお知らせいただきたく、当日取材および広報についてご検討を宜しくお願いいたします。

■「鮭川村きのこジオラマ」オープニングセレモニー

日時：2022年10月23日（日）11：00～

場所：山形県鮭川村大字川口 271-2 鮭の子館

スケジュール：

- 11：00 開会・村長あいさつ
- 11：05 テープカット（ジオラマお披露目）
- 11：10 来賓あいさつ（市町村課長、本学教授、村議会議長）
- 11：20 学生による作品紹介
- 11：25 閉会・記念撮影
- 11：30 終了



学生らによる制作の様子



完成したジオラマ（一部）

【本件に関するお問い合わせ】

鮭川村むらづくり推進課 むらづくり推進係

TEL：0233-55-2111 FAX：0233-55-3269 E-mail：suisin@vill.sakegawa.yamagata.jp

※当日の現場取材を希望される場合は事前にご一報をお願いいたします。